

2026年2月27日

各位

会社名 デンカ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 石田 郁雄
 (コード4061:東証プライム)
 問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長
 山本 浩之
 (電話 03-5290-5511)

経営計画「Mission 2030」フェーズ2 (2026~2028年度) 策定のお知らせ

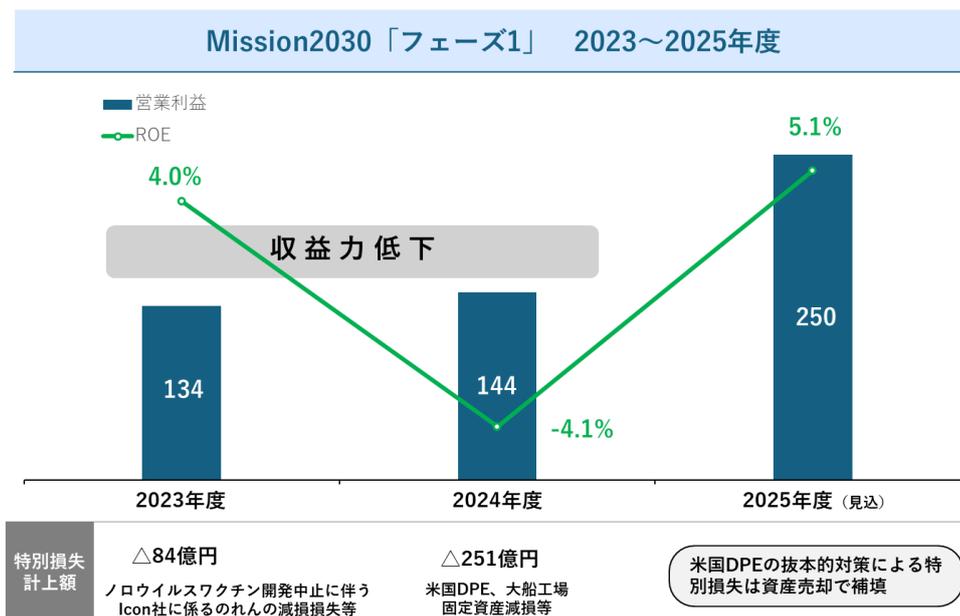
デンカ株式会社は、Visionに掲げるMission「2030年までに、人財・経営価値を高め、スペシャリティ・メガトレンド・サステナビリティの3要素を備えた事業価値創造に集中する」の実現に向け、経営計画『Mission 2030』を推進しております。

2023~2025年度のフェーズ1では、不採算事業の整理や事業構造改革と合わせ、成長分野での先行投資の実施により、短期間での成長と長期的な成長基盤強化の両立を目指しましたが、電材需要の低迷やEV市場の変調に伴う先行投資の回収遅れなど、急激な事業環境の変化に十分な対応ができず、収益力が低下する結果となりました。

これを受け、2026~2028年度のフェーズ2は「稼ぐ力の再構築と新たな成長ステージへの基盤固め」に注力する期間と位置づけ、確度の高い計画として営業利益の過去最高益更新とROE8%を設定しました。また、フェーズ3以降では再構築した稼ぐ力を基盤に、「異なる成長トレンドを持つICT&EnergyとHealthcareのベストミックス」を確立させ、企業価値の持続的な向上を実現してまいります。

1. 「Mission2030」の進捗状況

(1) 財務



<主な収益力低下の要因>

- ・2021年度比で約150億円の固定費増 (先行投資に伴う償却負担増など)
- ・米国クロロプレンゴム事業(DPE)の低迷
- ・半導体、EV等電材需要の変調
- ・スチレン系樹脂の需要減
- ・新規事業・製品開発の遅延

(2) 非財務

	2023年度実績	2024年度実績	2025年度見込	2030年KPI目標
温室効果ガス 排出量削減 (Scope1/2) <基準> 2013年度：247万 t-CO ₂	△29% (175万 t-CO ₂)	△28% (177万 t-CO ₂)	△40% (147万 t-CO ₂)	△60% (98万 t-CO ₂)
再生可能エネルギー 発電最大出力	146MW	147MW	150MW	150MW
労働災害度数率 (死傷者数÷延べ労働時間×100万)	0.43	0.73	0.50	0.20以下
女性の管理職比率	5%	5%	5%	15%

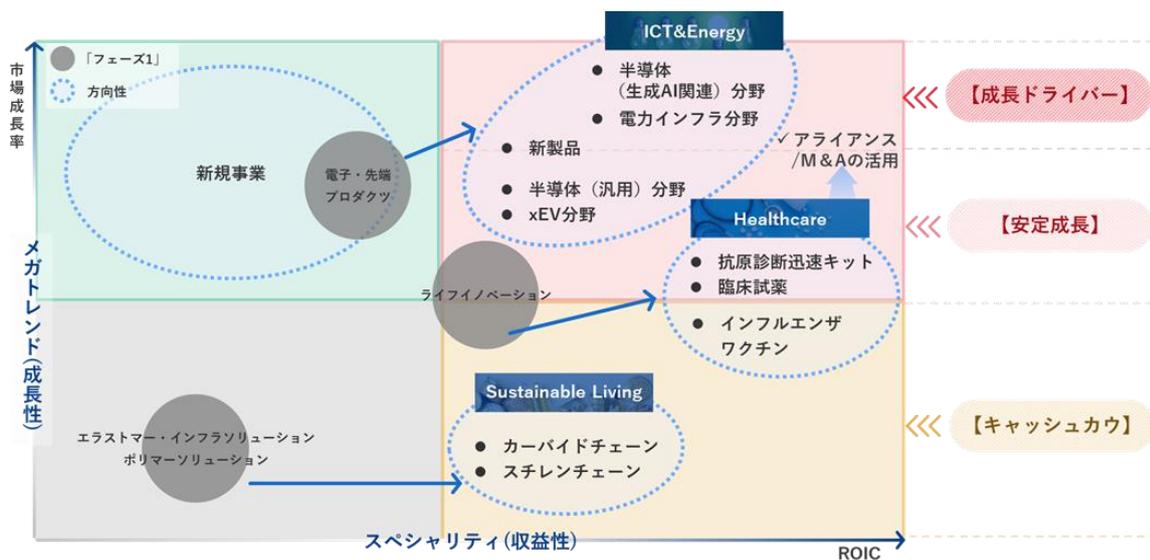
2. フェーズ2 (2026~2028年度) の取り組み

- ・ 蓋然性の高い事業計画を前提とし、成長戦略・構造改革・財務規律のバランスを図る。
- ・ 事業領域ごとに「成長ドライバー」「安定成長」「キャッシュカウ」の方向性を明確化し、「戦略的拡大」「先行投資の刈り取り」「資本効率改善・事業モデル転換」の3つの戦略でメリハリをつけて実行。
- ・ フェーズ3以降は、再構築した稼ぐ力を基盤に「異なる成長トレンドを持つ ICT&Energy と Healthcare のベストミックス」を確立させ、Sustainable Living では、勝ち残る事業に厳選し、新たな価値創造を図る。

(1) 成長戦略

<事業領域別の戦略>

ICT&Energy	サーマルマネジメントにおけるキーマテリアルを供給し、メガトレンド (AI、高速通信、xEV、再生可能エネルギー、半導体) における最先端分野でのデファクトスタンダード化を実現
Healthcare	診断薬事業での安定成長を基盤に、業界におけるアライアンス形成 (M&Aを含む) のフロントランナーを目指す
Sustainable Living	事業チェーン最適化・再構築によるキャッシュカウ化を実現した上で、勝ち残る事業のみへのポートフォリオ変革を断行



(2) 構造改革

- ▶ ライフイノベーションにおけるアライアンス : カイノス社の完全子会社化では、シナジーの早期実現を目指す (TOB 3月完了予定)
- ▶ スチレンチェーン再構築 : スチレン系事業の分離により、意思決定のスピードを速め、競争力強化に向けた協業や資本提携を含む選択肢の拡大を目指す
- ▶ カーバイドチェーン最適化 : 青海工場1拠点体制でのクロロプレンゴム最適生産および収益の最大化

(3) 財務目標

<数値>

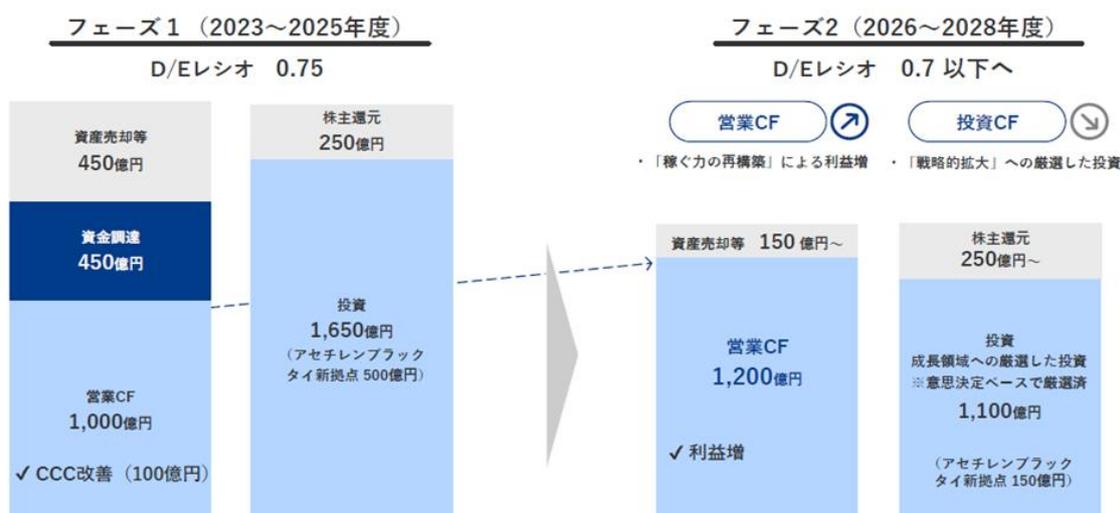
(億円)

	当初計画		フェーズ1			フェーズ2		
	26年度	30年度	23年度実績	24年度実績	25年度見込	26年度	27年度	28年度
営業利益	600	1,000	134	144	250	350	400	450
当期利益	-	-	119	△123	150	180	220	260
ROE (資本効率) *1	11%	15%以上	4.0%	△4.1%	5.1%	6.0%	7.0%	8.0%
ROIC (資本効率)	7%以上	10%以上	2.5%	2.5%	4.2%	5.0%	5.5%	6.0%
D/Eレシオ (財務健全性)	0.6~0.8倍 (信用格付A格維持)		0.57	0.73	0.75	0.75	0.70	0.7以下
投資額 (キャッシュベース)	8年間5,700億円		437	692	610	430	340	330
総還元性向	8年累計50%水準		72%	-	57%	株主還元方針を維持		
年間配当額(円/株)			100	100	100			

*1: ROE (資本効率) に関しては、フェーズ2の26年度~28年度のいずれかでROE8.0%の達成を目指します。

<キャピタルアロケーション>

- ・フェーズ2でも財務規律を統制しながら成長戦略を推進すると共に、株主還元方針「経営計画8年間累計の総還元性向50%を目安」を継続。



「化学の力で世界をよりよくするスペシャリストになる」ため、デンカグループ一丸となって『Mission 2030』フェーズ2達成に注力してまいります。

以上